

平成27年度事業計画

公益財団法人福岡県すこやか健康事業団

1. 基本方針

平成26年12月「アベノミクス解散」と称した衆議院選挙が挙行され、連立与党の圧勝で幕を下ろしました。

また、少子高齢化に伴う社会保障費の増加が進む中、財政健全化のための消費税率10%の実施についても平成29年4月まで延期することが決定し、国の財政は窮乏状態が続くことが予想されます。

そのような中、平成27年度厚生労働省の予算案についても主要施策として「健康長寿社会の実現」が掲げられており、健康寿命の延伸により医療費、介護費の縮減による財政圧縮を図り、増大し続ける社会保障費に歯止めをかけたい意図が推察されます。

本法人においても公益財団法人としての社会的使命を全うすると共に、これらの課題に対応すべく、平成27年度の事業計画を策定致しました。

特に健診（検診）等を通じて、人々の健康管理の支援を行うと共に、得られた健康データの整備を図り、調査研究、普及啓発等の公益目的事業への活用を推進し、健康情報を提供することによる健康知識の向上に寄与して参ります。

また、文部科学省にて検討が進んでおります「がん教育」についても関係機関等との連携を図り、取組みの強化を推進すると共に、女性特有のがん罹患の若年化に伴い、大学等の学生との連携を図り、若年層へのがん知識の普及への対応も強化して参ります。

さらには、医療保険者によるデータヘルス事業、事業場におけるメンタルヘルス事業等が本格的に実施されて参ります。本法人の抱える「健康データ」は、これらの施策への対応も十分有用なものであり、今後、データ整備等の体制強化を図って参ります。

平成27年度事業計画の遂行にあたっては、関係行政機関、関係医師会、関係大学等々の御指導と御支援のもと、役職員一丸となって事業運営を図って参る所存です。

2. 平成27年度事業計画

1) 健診事業等

- ①内閣府認定の公益財団法人としての使命である広域的健診データの集積を目的として、西日本地域での健診事業の拡大を図って参ります。
- ②国の掲げる「がん検診受診率50%」の推進を目標として、受診勧奨（コール・リコール）の体制を強化し、受診率の向上に寄与して参ります。
- ③情報管理のさらなる強化と情報資産を有効に活用することを目的として、ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の取得を目指して参ります。
- ④健診（検診）精度の向上を目的として、機器のデジタル化を推進して参ります。
- ⑤労働安全衛生法の改正に伴う、メンタルヘルス事業の実施体制の強化を図って参ります。

2) 調査研究事業

- ①データヘルス事業への対応を図るべく、学術研究センターを中心とした学術調査・研究事業を推進し、医療保険者等のニーズへ対応を図って参ります。
- ②関係大学等との連携を強化し、本法人の抱える健康データ等の有効活用を図り、地域住民の公衆衛生の向上に寄与して参ります。
- ③国の掲げる「女性の健康支援の充実のためのがん検診」にある「要精密検査」への受診勧奨についても体制強化を図り、がんの早期発見へ寄与して参ります。
- ④事業の成果については、年報や報告書の発行等を引続き行い、地域住民への情報発信と併せ、学会等においても発表し、広く公表して参ります。

3) 普及啓発事業

- ①主催事業である「がん征圧の集い」、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015福岡」を開催し、地域住民へのがん知識の普及啓発の推進を図って参ります。

- ②関係NPO法人との連携を図り、各種イベントや催しへ積極的に協力し、がん征圧活動の推進を図ります。また、公民館等での「出前講座」等へも積極的に参画し、草の根運動的な「がん」に関する知識の普及啓発活動を推進して参ります。
- ③行政機関、医師会、医療関係団体等が開催するイベントへの支援、協力を
行い、健康に関する普及啓発を図って参ります。
- ④地域の祭り、大学の学園祭での健康に関する知識の普及啓発を図って参
ります。

4) 助成事業

- ①がん医療の発展に貢献すべく、がん研究助成金事業については、研究機関、
大学等の研究者から公募を行い、助成の拡大を図って参ります。

5) その他

- ①支部活動の一環として、公益財団法人予防医学事業中央会との共催により
「全国情報統計研修会」を開催し、全国各都府県支部との健康データに関
する情報の共有化を図って参ります。